

ID No.	2006
研究課題名	ゼブラフィッシュをモデルとした網膜色素変性症の病態および視細胞変性の分子機構の解明
研究代表者	藤井 智明 ((公)佐々木研究所附属佐々木研究所・専任研究員)
研究組織 受入教員 研究分担者	渡邊 すみ子 (東京大学医科学研究所・特任教授) 関谷 剛男 ((公)佐々木研究所附属佐々木研究所・所長)
<p>研究報告</p> <p>本研究は、ゼブラフィッシュを利用して、日本人に高い割合で見られる網膜色素変性症の責任遺伝子による視細胞変性の分子メカニズムの解明を行うことを目的とする。本年度は、本支援を受け以下のような結果を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・網膜色素変性症の責任遺伝子と相互作用を示す分子のゼブラフィッシュホモログの発現様式を調べた結果、網膜色素変性症の責任遺伝子が発現している時期の組織でその発現が確認された。</li> <li>・CRISPR/CAS9システムを利用して目的遺伝子と相互作用を示す因子を欠損させたゼブラフィッシュの作製を試み、F0個体を得ることができた。</li> <li>・さらに、目的遺伝子と相互作用を示す因子の探索したところ、新たに目的遺伝子と相互作用を示す因子を同定し、発現パターンも明らかにした。</li> </ul> <p>今後、相互作用を示す分子から本遺伝子を原因とする網膜色素変性症の分子メカニズムを明らかにする。</p>	